

## 平成30年度 地域支援事業 概要

介護予防・日常生活支援総合事業：1介護予防・生活支援サービス事業

(1)訪問型サービス事業

①事業内容

要支援と事業対象者に対して、従来の訪問介護に相当する身体介護や生活援助をはじめ多様なサービスの提供を行います。

②実績

I 予防給付の訪問介護相当サービス、小平市独自基準のサービス(緩和した基準)

(国民健康保険連合会請求情報 当月利用分の合計件数)

	旧国基準	市独自基準	合計
平成30年度	6271件	1143件	7414件

II 短期集中型の訪問による相談指導

人数	回数
1人	3回

(2)通所型サービス事業

①事業内容

要支援と事業対象者に対して、従来の通所介護に相当する機能訓練をはじめ、多様なサービスの提供を行います。

②実績

I 予防給付の通所介護相当サービス、小平市独自基準のサービス(緩和した基準)

(国民健康保険連合会請求情報、当月利用分の合計件数)

	旧国基準	市独自基準	合計
平成30年度	9533件	1148件	10681件

II 短期集中型の通所による機能訓練

コース数	延回数	参加実人数	参加延人数	平均参加人数
6	90回	47人	611人	6.8人

III 住民主体によるサービス

対象団体	実績	延べ利用人数
3団体	3団体	270人

### (3)介護予防ケアマネジメント事業

#### ①事業内容

地域包括支援センターの介護支援専門員が、介護予防を目的として訪問型サービスと通所型サービスが、包括的かつ効率的に提供されるよう必要な援助を行います。

#### ②実績

平成30年度 延べ10,313件（国民健康保険連合会請求情報）

### (4)高額介護予防サービス費相当事業

#### ①事業内容

介護予防・日常生活支援総合事業によるサービス利用に係る利用者負担の家計に与える影響を考慮し、高額介護予防サービス費に相当する事業を実施します。

#### ②実績

平成30年度 延べ246件

### (5)高額医療合算介護予防サービス費相当事業

#### ①事業内容

介護予防・日常生活支援総合事業によるサービス利用に係る利用者負担の家計に与える影響を考慮し、医療保険の自己負担額を合算した額を考慮した高額医療合算介護予防サービス費に相当する事業を実施します。

介護保険と医療保険それぞれの月の限度額を適用後、年間(8月～翌7月)の利用者負担額(同時世帯で同じ医療保険に加入している利用者がある場合は世帯合算額)を合算して定められた限度額を超えた時は申請により超えた分があとから支給されます。

#### ②実績

平成30年度 延べ15件

介護予防・日常生活支援総合事業：2一般介護予防事業

(1) 地域介護予防活動支援事業

①事業内容

高齢者が年齢や心身の状況等にかかわらずに参加できる住民主体の通いの場等の介護予防活動の地域展開を目指して、ボランティア等の人材の育成、多様な地域活動組織の育成及び支援、社会参加活動を通じた地域活動の実施を行います。

②実績

I 高齢者交流活動支援事業

高齢者を主体とした交流活動の運営に係る相談支援、情報提供、研修及び団体相互の連絡調整、サロンの開始及び運営に係る経費の助成

相談支援団体数	22団体
補助執行団体数	11団体

II 高齢者交流室運営事業

小平第二小学校の交流室を平日の10時～15時まで開室し、創作活動などを実施

開室日数	利用延人数	1日平均
242	3,441	14.2

III ライフサポーター養成事業

○介護予防リーダー養成講座

・高齢者支援課や地域包括支援センターが行う介護予防講座の運営と一緒に関わったり、所属するサークルや集まり、介護予防に関する集まりを独自に実施するなどの担い手を養成する。

(主な内容) 介護予防に関する知識(運動や認知症予防など)の講座、「小平いきらく体操」の実技・習得、地域包括支援センター職員との情報交換

とき	実施場所	受講者	登録者
5月22日、29日、6月5日、12日、19日、26日、7月3日、10日、17日、24日	福祉会館	12人	12人

・平成30年度末登録者48名

(フォローアップ講座)

とき	テーマ	受講者
9月26日	地域づくりによる介護予防運動と通いの場について	9人

(合同交流会)

とき	テーマ	受講者
5月21日	介護予防リーダー3期生の養成講座について、地域づくり推進員について	23人
10月15日	介護予防の必要性、これから求められること、課題、筋力アップ体操(案)について	23人
1月28日	教室、講座を見学しての情報交換、小平筋力アップ体操(仮)の説明と実践	18人

## ○認知症支援リーダー養成講座

・認知症についてや認知症の方への関わり方等、認知症の方やその家族への適切なサポートや認知症カフェ等でのボランティアが行える人材を育成する。

(主な内容) 認知症の人への接し方のコツ、認知症の方や家族の気持ちを理解する、認知症の病気を理解し地域で支えていく、話かけ体験、今後の活動について等

とき	実施場所	受講者	登録者
5月15日、5月29日、6月19日、7月10日、7月24日	中央公民館、健康福祉事務センター	34人	29人
9月5日、9月29日、10月17日、10月31日、11月24日	中央公民館、健康福祉事務センター	31人	27人
計		65人	56人

・平成30年度末登録者148人

## (フォローアップ講座)

とき	テーマ	実施場所	受講者
1月8日	キャラバン・メイト養成研修	福祉会館	31人
2月6日	みんなはどんな活動しているの？	福祉会館	36人

## Ⅳ介護予防ボランティアポイント

・高齢者のボランティア活動を通じた、自主的な介護予防の取り組みに対してポイントを付与する。ポイント対象事業1回の参加で1ポイント、3ポイントごとに小平ベリースタンプと100枚交換。

ポイントカード発行	ポイント交付
83名	1238ポイント

・平成30年度末類計 262名 2127ポイント

## (2)介護予防把握事業

### ①事業内容

地域の実情に応じ、効果的かつ効率的に収集した情報等を活用して、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動へ繋げていきます。

### ②実績

#### I 高齢者見守り事業

#### ○平成30年度末時点

地域包括支援センター名	申請による見守り者数	包括独自の見守り者数	合計人数	訪問	電話	確認件数
けやきの郷	50人	2人	52人	193回	19回	212回
小川ホーム	27人	10人	37人	123回	86回	209回
中央センター	1人	13人	14人	34回	17回	51回
多摩済生ケアセンター	36人	30人	66人	249回	56回	305回
小平健成苑	29人	17人	46人	145回	134回	279回
合 計	143人	72人	215人	744回	312回	1,056回

## Ⅱ 実態把握調査

要介護1以上の介護認定を受けていない、病院、施設入所をしていない市民のうち69歳、72歳、75歳、78歳、81歳、87歳以上の高齢者にアンケート調査。

配布数	有効回収数	有効回収率
13,126件	9,551通	72.8%

## Ⅲ 実態把握調査未回答者等訪問

実態把握調査(生活状況アンケート)回答者のうち一定要件を満たす方と未回答の中から、包括支援センターが各100名程度を訪問する。

平成30度 訪問件数 511件

### (3) 地域リハビリテーション支援事業

#### ①事業内容

リハビリ専門職が、地域包括支援センターと連携しながらの訪問や、地域ケア会議、サービス担当者会議、通所介護事業所、住民運営の通いの場での介護予防の取組を総合的に支援することで、地域における介護予防の取り組みの強化を行います。

#### ②実績

##### I 地域リハビリテーション活動支援事業

派遣件数	33件
------	-----

### (4) 介護予防普及啓発事業

#### ①事業内容

介護予防活動普及啓発のために、パンフレットの作成・配布、介護予防講座、有識者等による講演会等を開催します。

#### ②実績

##### I 介護予防講演会

とき	実施場所	参加人数	テーマ	講師
3月19日	福祉会館	63人	知って得する！介護予防の話と実践～フレイルにならないために～	岡田真明Dr、三浦章吾PT、山下祥紀PT (公立昭和病院 リハビリテーション科)

##### II いきいき介護予防教室

##### ◎総合コース(運動4コマ、歯科1コマ、口腔1コマ)

とき	実施場所	回数	参加人数	延参加人数
6月1日～7月27日	福祉会館	6	34人	131人
10月11日～11月15日	小川西町公民館	6	18人	72人
1月23日～2月27日	東部市民センター	6	26人	103人
合計	3コース	18回	78人	306人

##### III 歯つらつ健康教室

◎(1日目、2日目：歯科講話、口腔体操、3日目：栄養講話、口腔体操、4日目：アセスメント、グループワーク)

とき	実施場所	参加実人数	参加延人数
9月6日、13日、20日、27日	美園地域センター	19人	65人
2月7日、14日、21日、28日	小川西町中宿地域センター	16人	49人
合計	2コース	35人	114人

##### ◎出張教室

とき	実施場所	参加人数
11月22日	出張教室(すずの木サロン)	12人
12月4日	出張教室(大沼1丁目シルバーピア)	10人
12月20日	出張教室(介護予防体操の会)	6人
1月30日	出張教室(大沼1丁目シルバーピア)	8人
2月5日	出張教室(ひだまりサロン)	15人
合計	5回	51人

#### Ⅳ気軽に元気アップ介護予防運動講座

実施場所	とき	参加人数
さわやか館	毎週火曜日 13時30分～15時00分	1,314人
喜平図書館	毎週火曜日 9時30分～10時30分 10時40分～11時40分	4,449人
ほのぼの館	毎週火曜日 9時30分～10時30分 10時40分～11時40分	3,000人
上水本町地域センター	毎週木曜日 14時00分～15時30分	1,733人
花南地域センター	隔週金曜日 10時00分11時30分	393人
中島地域	隔週木曜日 10時00分～11時30分	708人
福祉会館	隔週月曜日 14時00分～15時30分	880人
鈴木地域センター	各週課曜日 10時00分11時30分	490人
合計	8回	12,967人

#### V介護予防講座(地域包括支援センター実施分)

担当包括	回数	実施場所	参加人数	テーマ
小平健成苑	24回	鈴木公民館ホール	339人	脳トレ・体操を通しての介護予防
		小平健成苑多目的ホール		
多摩済生ケアセンター	12回	大沼公民館	321人	自宅でできる介護予防体操
中央センター	12回	福祉会館 小ホール	295人	ころばん体操教室
小川ホーム	24回	小川西町中宿地域センター	562人	元気はつらつ小川の会体操教室
		学園西町地域センター		
けやきの郷	101回	都営たかの台アパート集会所	2,127人	ねたきりにならないための運動習慣
		上水新町地域センター		
	合計	173回	3,644人	

#### Ⅵ認知症予防教室

##### ◎入門編

とき	実施場所	参加人数
4月18日	東部市民センター	36人
8月30日	健康福祉事務センター	20人
合計	2回	56人

##### ◎実践編

とき	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
4月25日～7月18日	東部市民センター	12回	24人	264人
9月13日～11月29日	健康福祉事務センター	12回	11人	99人
合計		24回	35人	363人

##### ◎フォローアップ編

とき	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
8月1日、29日、9月12日	東部市民センター	3回	18人	53人
12月20日、1月17日、1月31日	健康福祉事務センター	3回	7人	18人
合計		6回	25人	71人

##### ◎イベント

とき	実施場所	開催回数	参加人数
6月28日	東部市民センター	1回	35人
10月3日	小川西町公民館	1回	42人
2月28日	福祉会館	1回	37人
合計		3回	114人



## Ⅶ認知症予防講座

テーマ:「目から鍛える認知症予防教室」

とき	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
5月14日～7月2日	美園地域センター	8回	29人	185人
9月4日～10月23日	小川西町公民館	8回	22人	159人
10月29日～12月17日	東部市民センター	8回	30人	217人
1月8日～2月26日	福祉会館	8回	30人	203人
合計		32回	111人	764人

## Ⅷ認知症予防講演会

とき	実施場所	参加人数	テーマ	講師
9月25日	中央公民館	40人	認知症予防に役立つ コグニサイズ	セントラルスポーツ(株)介護予防事業部
3月12日	中央公民館	52人	認知症予防と認知症になっ ても安心して暮らせるまち づくり	東京都健康長寿医療センター 杉山 美香
合計		92人		

## Ⅸ広報紙発行

とき	内容
6月4日～6月11日	見守りは助け合いの第一歩
2月14日～2月19日	いつまでも楽しくいきいきと暮らそう

## Ⅹ高齢者健康音楽教室

回数	延参加人数	一回あたり人数
48	828人	17.25 人

介護予防・日常生活支援総合事業:3審査支払手数料

(1)審査支払手数料

### ①事業内容

介護予防・生活支援サービス事業における、東京都国民健康保険団体連合会の審査に対し手数料を支払います。

### ②実績

審査支払件数 延べ18,539件

包括的支援事業・任意事業：1 包括的支援事業

(1) 地域包括支援センター運営事業

① 事業内容

市内4圏域に設置された地域包括支援センターにおいて、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが中心となり、高齢者の生活を総合的に支える様々な支援を行います。

② 実績

I 地域包括支援センター活動実績

地域包括支援センター名	プラン作成	相談
小平市地域包括支援センターけやきの郷	3,683	9,560
小平市地域包括支援センター小川ホーム	5,524	11,807
小平市地域包括支援センター中央センター(基幹型)	869	1,973
小平市地域包括支援センター多摩済生ケアセンター	5,020	11,485
小平市地域包括支援センター小平健成苑	5,552	7,688

II 介護予防見守りボランティア事業

○登録研修 1日間/1コース

内容：地域の中で高齢者を守ること 講師：白梅大学講師 午頭 潤子氏

日	会場	参加者実数	登録者数
7月9日	ルネこだいら レセプションホール	40名	30名
			65以上29名・64以下1名
2月13日	中央公民館 ホール	22名	10
			65以上9名・64以下1名

○講演会

とき	実施場所	参加人数	テーマ	講師
1月18日	中央公民館 ホール	72名	みんなで伸ばそう健康寿命～ 元気なシニアライフを送るコツ	東京都介護予防推進支援センター研究員 安永 正史氏

○交流会

・けやきの郷

開催日	参加者数	テーマ・内容
5月15日	27人	今年度の活動計画、防災と自助について
7月13日	29人	認知症について
9月18日	35人	傾聴について
11月20日	22人	地域の社会資源について、施設見学とまち歩き
1月15日	26人	健康・介護予防について
3月19日	25人	今年度の交流会の振り返り、来年度の取り組みについて

・小川ホーム

開催日	参加者数	テーマ・内容
4月20日	19人	今年度の活動計画、自分の町をよく知り情報発信をしよう、認知症の方を見守るには
5月18日	15人	今年度の活動計画、地域の居場所について
6月15日	15人	見守り活動と情報交換、たいよう福祉センターまつりについて
7月6日	11人	風鈴荘の見学
8月17日	22人	防災と日頃の見守りについて、たいよう福祉センターまつりについて
9月21日	18人	認知症について
10月19日	19人	声かけ模擬訓練前の学習会
11月16日	22人	声かけ模擬訓練
12月21日	24人	認知症声かけ模擬訓練の振り返り
2月15日	17人	ブリヂストンとの合同ワークショップ
3月15日	14人	認知症声かけ模擬訓練の振り返り、来年度の計画について

・中央センター

開催日	参加者数	テーマ・内容
5月29日	9人	今年度の活動計画、認知症の基礎知識、対応等について
7月31日	9人	見守りガイドブックの再確認
9月26日	5人	地域にある社会資源について
11月27日	7人	災害と日頃の見守りについて
1月29日	7人	自身が住む地域と地域貢献について
3月26日	9人	日頃の見守りボランティアの活動についての意見交換

・多摩済生ケアセンター

開催日	参加者数	テーマ・内容
5月10日	20人	今年度の活動計画、見守りガイドブックの再確認
7月19日	17人	高齢者疑似体験とグループワーク
9月13日	20人	傾聴について
11月8日	14人	まち歩き
1月10日	19人	交流会で取り上げたいテーマについて
3月14日	29人	ゴミ捨てと見守りについて

・小平健成苑

開催日	参加者数	テーマ・内容
5月15日	27人	今年度の活動計画、高齢者疑似体験
7月17日	28人	災害と日頃の見守りについて
9月18日	31人	ガイドヘルプ体験
10月3日	15人	まち歩き
11月15日	23人	介護予防体操、ストレッチについて
1月15日	29人	交流会で取り上げたいテーマについて
3月15日	18人	食品ロスについて、今年度の交流会の振り返り、来年度の取り組みについて

交流会合計

開催回数	延べ参加人数
36回	696人

・合同交流会

開催日	参加者数	テーマ・内容
3月25日	51人	今日の活動を明日につなげよう～事例の再現寸劇と意見交換

□登録者数□

(平成31年3月31日現在)

圏域	登録者			協力員			合計		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
西	40	42	82	0	8	8	40	50	90
中央西	33	45	78	2	10	12	35	55	90
中央	7	8	15	0	3	3	7	11	18
中央東	28	46	74	3	9	12	31	55	86
東	30	47	77	4	9	13	34	56	90
合計	138	188	326	9	39	48	147	227	374

○相談内容

圏域	件数	主な内容
西	5件	・高齢者夫妻の夫が救急車で搬送されたが、同居の妻は耳が遠いので心配であるという連絡。地域包括支援センターで対応を行った。
		・本人宅を訪問したが、応答がない。体調不良に見えたので心配であるという相談。地域包括支援センターで対応するとともに、今後も見守りを続けていただくよう通報者に伝える。
		・妻が最近歩行困難になっているという相談を受けたという連絡。地域包括支援センターが対応を行う。
		・近隣に住んでいる方が最近痩せてきて元気が無く、心配であるとの相談。地域包括支援センターで対応するとともに、今後とも見守って頂くことを依頼。
		・介護保険のサービスを利用したいと思っている方がいるので、相談にのってほしいとの連絡。地域包括支援センターで対応を行うとともに、今後ともご近所で見守って頂くことを依頼する。
中央西	8件	・高齢者夫婦で夫は入院しており、妻が現在一人で生活している。転倒が多く買い物にも行けていないため、今後のことに不安が募っていると連絡。地域包括支援センターからケアマネジャーに連絡し対応をとる。
		・友人から「独居の女性で、もの忘れが心配な人がいる」と相談を受けたとの連絡。本人宅へ訪問したところ不在であった。相談した友人が「ニコニコカフェ」に本人を誘って連れていくとのことだったため、「ニコニコカフェ」で改めて対応を予定。
		・サロンに毎週来ていた男性が、最近全く来ない。生活上のことで困りごとがあるのではないかと連絡。状況把握のために地域包括支援センターから男性へ連絡をとる。
		・ゴミ捨てが出来なくなっている方を近所の人達と見守っているが、介護保険の申請が必要だと思うので訪問して相談に乗ってほしいとの連絡。見守りボランティアと共に地域包括支援センター職員が訪問し対応をとる。
		・高齢クラブに参加されていた方が、最近急に見かけなくなったとの連絡。地域包括支援センターで関わった経緯があり、地域包括支援センターが関わっている旨を見守りボランティアにお伝えする。
		・同じ集合住宅に住んでいる方が、一人でぼんやりとたたずんでいることが多く、近隣の方からも心配の声が上がっていると相談。既に必要な支援者が関わっているため、引き続き対応する。
		・独居の男性が、周辺の住環境が変わった事で近隣の方に不安を訴えるようになったとの相談。包括職員が訪問しても応答がなかったため、見守りボランティアからご本人に地域包括支援センターについて説明してもらい、了承を得たうえで訪問することとなる。
		・近隣で交流のあった方が転居し、残った息子が変わった行動をすることがあり近隣の住民が不安になっているとの相談。見守りボランティアへは息子は心配するような行動はしていない事、既に関係者が経緯を把握していることを説明した。

圏域	件数	主な内容
中央	4件	・ご近所の方で足腰が弱っている方がいるので、体操教室を紹介したいとの相談。既に地域包括支援センターで関っている方であるため、引き続き対応する。
		・近所の方が最近手術を受け、気分が落ち込んでいる。地域包括支援センターのことを紹介しても良いかという相談。既に地域包括支援センターで関っている方であるため、引き続き対応する。
		・ご近所の方から足腰が悪くなったと相談を受けたとの連絡。確認したところ、地域包括支援センターで関わりのある方であるため、引き続き対応する。
		・見守りボランティア事業講演会に参加した方から、その後登録に関する連絡がこないと相談があったとの連絡。担当圏域の地域包括支援センターへ連絡し、交流会のご案内を送っていただくよう依頼する。
中央東	0件	
東	6件	・近隣に住む一人暮らしの女性の庭が荒れており、どうなっているのか心配であるとの通報。既に地域包括支援センターで関っている方であるため、引き続き対応する。
		・障害者手帳を持っている男性が同居の母親を亡くしており、今後の生活が心配であるとの相談。担当課に確認をとり自宅を訪問し面談したところ、本人は一人で生活できており「困っていることはない」との返答。訪問した様子を通報者に伝える。
		・独居の女性が外出していない様子で心配であるとの通報。地域包括支援センターの職員が自宅を訪問したところ、体調は良くないが生活はできているとのことだったため、介護保険制度等についてご説明し、必要時に連絡いただくこととする。
		・独居の男性宅の郵便受けにちらしが溜まっており、ここ3週間ほど姿を見ていないとの連絡。既に地域包括支援センターで関っている方であるため、引き続き対応する。
		・83歳の女性から「階段の上り下り、食事の支度が大変なので支援してもらいたい」と相談を受けたとの連絡。地域包括支援センター訪問し対応をとる。
		・93歳の独居女性から、「自分が倒れたとき不安だから、自宅のスペアキーを預かってほしい」と相談されたとの連絡。既に地域包括支援センターで関っている方であるため、引き続き対応する。
合計	23件	

## (2)地域ケア会議推進事業

### ①事業内容

地域包括支援センターの包括的・継続的ケアマネジメント業務の効果的な実施のために介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門知識を有する者、民生委員、その他の関係者、関係団体により構成される会議(地域ケア会議)を設置します。地域ケア会議の積極的な活用により、ネットワークの維持や、拡充に努めます。

### ②実績

#### I 地域ケア会議の実施状況

個別型地域ケア会議	12 回
地域型地域ケア会議	1 回
基幹型地域ケア会議	1 回

## (3)認知症総合支援事業

### ①事業内容

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、認知症の人とその家族を支援する事業を行います。

### ②実績

#### I オレンジカフェ(認知症カフェ、地域包括支援センター開催)

○各地域包括支援センターで、月に1回開催しています。

	回数	本人	家族	地域	関係者	合計
けやきの郷	12回	30人	21人	311人	10人	372人
小川ホーム	12回	91人	2人	143人	13人	249人
中央センター	12回	9人	10人	89人	0人	108人
多摩済生ケアセンター	12回	30人	8人	28人	10人	76人
小平健成苑	12回	48人	26人	176人	12人	262人
合計	60 回	208人	67人	747人	45人	1,067人

### II もの忘れ相談会

#### ○認知症についての医師による相談

回数	相談人数	相談結果(重複あり)		
		助言のみ	相談会報告書発行	関係機関連絡、継続支援
5回	14人	6	5	6

### III 認知症地域支援推進員

○家族、近隣、地域包括支援センター等からの相談を受けて支援を行います。

相談件数		訪問件数		アウトリーチチーム			
実数	件数	実数	件数	実数	件数	訪問	カンファレンス
32件	延べ349件	16件	延べ85件	1名	1件	0回	1回

#### ○認知症初期集中支援チーム

実件数	訪問	カンファレンス	チーム員会議
4件	12回	2回	6回

○認知症に関する会議

日時	会議名	内容	主催	参加人数
8月29日	認知症ネットワーク会議	認知症施策について、 認知症初期集中支援チームに関する意見交換	高齢者支援課	21名
11月26日	認知症対策会議	初期集中支援チームの活用	認知症地域支援推進員	19名
3月22日	認知症対策会議	認知症地域支援推進員実績報告、 認知症の早期対応について	認知症地域支援推進員	17名

○認知症に関する関係者向け研修

日時	会議名	内容	参加人数
9月11日	施設職員向け認知症ケア向上研修	認知症の方への支援に必要なアセスメント力	28名

○家族向け講座(全5回×2コース)

日時	内容	参加人数
5月14日.28日.6月11日.25日.7月9日	認知症の家族介護者のための 認知行動療法講座	9名
10月15日.26日.6月12日.26日.12月10日		10名

○本人交流会:認知症の当事者同士の交流

日時	場所	参加人数
11月15日	中央公民館	18名(内、当事者9名)
2月14日	中央公民館	8名(内、当事者6名)

○介護者交流会:認知症の方の介護者の交流

日時	場所	参加人数
5月28日	健康福祉事務センター	4名(うち介護者4名)
7月9日	福祉会館	5名(うち介護者5名)
10月1日	福祉会館	7名(うち介護者4名)
12月10日	健康福祉事務センター	8名(うち介護者8名)
3月18日	福祉会館	8名(うち介護者4名)

○もの忘れチェック会:物忘れチェック、認知症に関する講話

日時	場所	参加人数
9月12日	中央公民館	14名
1月29日	小川ホーム	17名
3月5日	小平健成苑	12名



Ⅳ こだいら認知症週間:11月12日(月)～17日(土)

実施日	事業名	内容	人数
11月12日～17日	認知症に関する情報コーナー(市役所1階正面エレベーター北側壁面)	認知症に関する記事の掲示	
11月13日	認知症相談会(再掲)	医師による認知症に関する相談	3名
11月14日	オレンジカフェ(認知症カフェ)(再掲)	認知症の方とその家族、地域の家族が懇談等	17名
11月15日	認知症サポーター養成講座(再掲)	市民を対象とした認知症を啓発するための講座	10名
	認知症本人交流会	認知症の当事者同士の交流	18名 (うち当事者9名)
11月16日	認知症声かけ模擬訓練	認知症のために徘徊をする高齢者に扮した参加者を、他の参加者が道ですれ違う人に声をかけながら探すなかで、認知症の啓発をおこなう	48名
11月17日	認知症週間講演会 (テーマ:認知症を知ろう)	認知症の専門医と認知症介護指導者のリレー講演	83名

#### (4)在宅医療・介護連携推進事業

##### ①事業内容

医療と介護との連携を推進することにより、病院から在宅医療への円滑な移行等を図り、自宅で療養生活を続けられるよう支援します。

##### ②実績

###### I 幹事会

	日付	人数
第1回	4月25日	20
第2回	7月4日	14
第3回	10月16日	16
第4回	2月5日	15

###### II 協議会

	日付	人数
第1回	5月24日	81
第2回	12月1日	82

###### III関係者向け講演会・研修会 年5回

日付	人数	内容	参加者
10月19日	77	終末期医療の食形態や摂食方法を学ぶ ～言語聴覚士の見地から～	歯科医師・通所介護・訪問介護・ケアマネ・医師・行政
11月9日	24	ヘルパーのための「ターミナルケア」基礎編(東地域) ～看取りのケアの困りごと、一緒に考えてみませんか～	訪問介護・看護師
11月16日	31	ヘルパーのための「ターミナルケア」基礎編(西地域) ～看取りのケアの困りごと、一緒に考えてみませんか～	訪問介護・看護師
11月19日	88	人生の最終段階におけるリハビリとは	リハビリ職・訪問看護・ケアマネ・医師・歯科医師・薬剤師・地域包括、行政
2月16日	50	薬と緩和ケア～苦痛をなくしてそのひとらしくあるために ～麻薬への「誤解」をなくしましょう	薬剤師・訪問看護・ケアマネ・訪問介護・医薬品卸・医師

###### IV病院における多職種連携研修会 年1回

日付	人数	内容	参加者
10月30日	55	病院・在宅療養に関する関係機関の紹介 ・ グループワーク	一橋病院在宅関係者

###### V多職種研修会 年3回

日付	人数	内容
10月13日	63人	「地域に暮らす高齢者を支えるために」～地域医療・介護の連携について考える～（事例検討）
10月20日	53人	「地域に暮らす高齢者を支えるために」～地域医療・介護の連携について考える～（事例検討）
2月2日	83人	「ACP」から地域連携を考える ～まずは、身近なこととして話してみよう～ 講義(ACP)・事例検討

Ⅵ市民向け講演会等 年3回

○市民セミナー 年2回

日付	場所	人数	内容
7月7日	健康センター 視聴覚室	46	あなたの在宅療養支えますー通院できなくなったらどうするのー
1月26日	健康センター 視聴覚室	41	人生の終わりについて考えてみませんかー看取りのための基礎知識ー

○市民講演会 年1回(医師会と共催)

日付	場所	人数	内容	講師
2月23	福祉会館 市民ホール	294	人生の最終章どう生きますか 自分で決めたい、自分のこと	在宅緩和ケア充実診療所 ケアタウン小平クリニック 院長 山崎章郎

Ⅶパンフレット発行

- ・パンフレット「こだいら健康ガイド」(健康推進課にて発行 全戸配布)
- ・「在宅医療機関が必要な方」「病院・診療所等一覧表」部分作成
- ・在宅医療と介護の基礎知識改定 5,000部発行

Ⅷ在宅医療連携調整窓口

○相談件数 集計

相談実件数		40 件
相談延べ件数		111 件
延べ件数 内訳	電話	109 件
	その他	2 件

○相談者

病院 (市内)	病院 (市外)	医院	ケアマネ	包括	介護事業所	市役所	その他
11 件	3 件	0 件	18 件	6 件	0 件	0 件	2 件

## (5)生活支援体制整備事業

### ①事業内容

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、NPO法人、民間企業、協同組合、ボランティア、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、介護サービス事業所、高齢者クラブ、商工会、民生委員児童委員等の生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていきます。

### ②実績

I 第1層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター中央センターに1名配置）

活動実績（延べ）

相談・活動把握	会議	連絡・調整	研修	2層との連携	CSWとの連携	その他
38 回	55 回	209 回	4 回	78 回	15 回	36 回

### II 第1層生活支援体制整備事業協議会

開催日	内容
6月13日	平成28・29年度の振り返り、小平市地域包括ケア推進計画について、市における居場所立上げ・運営等支援の現状について、グループワーク「今後どのように居場所の数を増やしていくか」
9月7日	居場所立上げ支援についてのグループワーク「ひと、場所・資金、情報・広報」
12月5日	居場所立ち上げの取り組みについて、今後の具体的な取組みの進め方、事業周知の必要性について
2月22日	まとめ（第2層生活支援コーディネーターが収集した情報をふまえて）

協議会メンバー：ボランティア・市民4名、学識経験者1名、民生委員・児童委員2名、NPO法人1名、商工会1名、市民活動支援センター1名、介護支援専門員1名、社会福祉協議会1名、地域包括支援センター2名、障がい者施設1名

### III 第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センターに延べ9名配置）

活動実績（9名延べ）

相談・活動把握	会議	連絡・調整	研修	1層との連携	CSWとの連携	その他
822 回	420 回	695 回	50 回	59 回	83 回	345 回

### IV 第2層生活支援体制整備事業協議会

各圏域において、勉強会や小地域の懇談会などを経て協議会を立ち上げた。

○けやきの郷

協議会の立ち上げに向けた勉強会や小地域の懇談会3回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
6月20日	黎明ホール	地域の支えあいの仕組みづくりについて	17 人
7月20日	けやきの郷 家族介護教室	協議会の目的の確認	14 人
9月10日	けやきの郷 家族介護教室	圏域内の地域について	14 人
11月12日	けやきの郷 家族介護教室	地域の通いの場の実践者との交流	11 人
1月21日	けやきの郷 家族介護教室	通いの場の立ち上げと、ロードマップについて	10 人
3月20日	けやきの郷 家族介護教室	地域に必要な通いの場について	16 人

○小川ホーム

協議会の立ち上げに向けた勉強会や小地域の懇談会4回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
8月2日	小川ホーム食堂	地域の支えあいの仕組みづくりについて	23 人
7月20日	小川ホーム食堂	生活支援体制整備事業について	21 人
2月21日	小川ホーム食堂	今後の取り組みについて	14 人

○中央センター

協議会の立ち上げに向けた勉強会や小地域の懇談会6回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
11月13日	健康福祉事務センター	生活支援体制整備事業協議会について	9 人
12月8日	健康福祉事務センター	地域の良いところについて	13 人
1月15日	健康福祉事務センター	今後の取り組みについて	10 人
2月12日	健康福祉事務センター	地域の困りごとの把握と今後の取り組みについて	12 人
3月13日	健康福祉事務センター	生活支援コーディネータについて、広報について	13 人

○多摩済生ケアセンター(仲町)

協議会の立ち上げに向けた勉強会や小地域の懇談会15回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
6月14日	そんぼの家小平仲町	生活支援コーディネーターと、協議会について	9 人
7月10日	そんぼの家小平仲町	地域特性と地域でのイベントについて	10 人
8月6日	高齢者交流室	地域でのイベント実施について	12 人
8月22日	高齢者交流室	地域でのイベント実施と地域の協力について	11 人
9月12日	そんぼの家小平仲町	地域でのイベント実施・準備について	11 人
10月3日	そんぼの家小平仲町	地域でのイベント準備	13 人
10月19日	高齢者交流室	地域でのイベント準備	12 人
11月12日	高齢者交流室	イベント振り返りと今後の活動について	10 人
12月18日	高齢者交流室	地域でのイベントの必要性について、今後の活動について	11 人
1月23日	そんぼの家小平仲町	子どもが参加できる地域のイベントについて	14 人
2月26日	高齢者交流室	地域のイベントについて、協力者の拡大について	16 人
3月13日	高齢者交流室	地域のイベントについて、協力者の拡大、安全確保等について	15 人

○多摩済生ケアセンター(美園)

日時	場所	主な協議事項	参加者数
12月20日	イリーゼ小平	生活支援体制整備事業協議会について	16 人
1月25日	多摩済生ケアセンター	生活支援体制整備事業協議会とよりよい地域づくりについて	13 人
2月22日	多摩済生ケアセンター	仮想で大人と子ども食堂を実現するには	12 人
3月22日	イリーゼ小平	市内の通いの場について、やってみたい居場所について	6 人

○小平健成苑

協議会の立ち上げに向けた勉強会や小地域の懇談会3回

日時	場所	主な協議事項	参加者数
3月27日	あおぞら福祉センター	地域の支えあいの仕組みづくりについて	9 人

#### V生活サポーター養成講座

・介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの担い手の養成

(主な内容)介護保険制度、高齢者に多い病気・介護予防、認知症サポーター養成講座、傾聴、家事援助の実際、今後の活動についての4日間の講座

とき	実施場所	受講者	登録者
7月11日～20日	福祉会館	22人	22人
10月2日～11日	福祉会館	16人	16人
1月15日～24日	福祉会館	12人	11人
合計	3コース	50人	49人

包括的支援事業・任意事業:2任意事業

(1)介護相談員派遣等事業

①事業内容

介護相談員が、介護サービスの提供の場を訪ね、利用者の相談に応ずる等の活動を行うことにより、苦情に至る事態を未然に防止すること及び利用者の日常的な不平、不満又は疑問に対応して改善の途を探り、介護サービスの質的な向上を図ることを目的とする。

②実績

介護相談員	14人
訪問施設	9施設
実施回数	141回
面接人数	1,969人
介護相談調整会議	12回

(2)介護給付費適正化事業

①事業内容

利用者向けの介護給付費通知書の発行、住宅改修工事の現地調査、介護サービス事業者への指導を行い、介護保険サービスの適正な給付を図ることを目的とする。

②実績

介護給付費通知書発送件数	5,664件
住宅改修訪問調査件数	1件
実地指導実施事業所数	4事業所

包括的支援事業・任意事業:2任意事業

### (3)ケアプラン指導研修事業

#### ①事業内容

小平市における保健・医療・福祉の専門家等からなる指導チームが、介護サービス事業者を対象として、具体的なケアプラン事例調査及び指導並びにケアプラン作成技術向上のための支援を行い、ケアプラン及び介護サービスの質的な向上を図ります。

#### ②実績

	日付	テーマ	参加人数	参加事業所数
ケアプラン研修	6月12日	“自立支援”につなげる住宅改修～基本を再確認し、本当に「使える」改修をしよう！～	79人	38 事業所
	9月4日	ケアプラン個別研修(前期) 1日目	40人	25 事業所
	10月2日	ケアプラン個別研修(前期) 2日目	40人	25 事業所
	10月12日	ケアプラン個別研修(前期) 3日目	40人	25 事業所
	11月16日	「糖尿病とともに生きる方を支える」 ～変化のシグナルを見逃さないための視点とは～	76人	32 事業所
	1月22日	ケアプラン個別研修(後期) 1日目	48人	28 事業所
	2月1日	「アンガーマネジメントを学ぼう！～ “怒り”と上手に付き合うためのスキルを身に付けよう～」	65人	31 事業所
	2月15日	ケアプラン個別研修(後期) 2日目	48人	28 事業所
	2月25日	ケアプラン個別研修(後期) 3日目	48人	28 事業所
	3月15日	「在宅で暮らす高齢者への虐待防止・対応を学ぼう！」～支援者としての気づきの視点～	66人	32 事業所
地域包括支援センター研修	12月14日	面談力・面接スキルトレーニング 1回目	50人	5 事業所
	1月18日	面談力・面接スキルトレーニング 2回目	44人	5 事業所
延べ参加人数			644人	302 事業所

### (4)居宅介護支援事業者等助成

#### ①事業内容

居宅介護支援事業者等に対し、住宅改修の利用援助を行ったことについて助成を行い、円滑なサービス利用の促進を図ることを目的とする。

#### ②実績

助成件数	101件
------	------



(5) 家族介護教室事業

① 事業内容

高齢者を介護している家族等を対象に教室を開催し、介護方法や介護予防の知識、技術を習得してもらうこと及び心身のリフレッシュを図ります。

② 実績

包括名	実施日	内 容	講 師	参加者数
けやきの郷	7月19日	健康ウォーキング講座	地域包括支援センター職員	13人
	11月15日	知って納得 薬のあれこれ	花房 宏樹 (管理薬剤師)	21人
	1月31日	認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター職員	20人
小川ホーム	5月17日	認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター職員	19人
	7月23日	笑いヨガ	高村 靖子 (NPO法人ウォーキング研究所)	23人
	12月13日	下肢静脈瘤の予防講座	立川静脈瘤クリニック	25人
中央センター	9月6日	毎日の元気を作る栄養と食べ方の秘訣	米山 久美子 (在宅訪問管理栄養士)	21人
	9月27日	認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター職員	18人
	11月7日	男性介護者のための 「初めてのおいしい介護食」	竹内 洋子 (管理栄養士)	7人
多摩済生ケ アセンター	10月1日	福祉用具の選び方、使い方、 ミニ展示会	椎名 美穂子 (福祉用具専門相談員)	6人
	10月2日	福祉用具を活用した介助方法	柿田 美恵子 (訪問看護・理学療法士)	6人
	10月3日	認知症サポーター養成講座	栗林 良江 (看護師)	12人
小平健成苑	7月12日	認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター職員	19人
	9月19日	聞いて得する老人ホームの選び方～高齢者住 宅の種類と違い・選ぶ際のポイント(前編)	齋藤 弘毅 (老人ホーム相談センター)	33人
	9月20日	聞いて得する老人ホームの選び方～高齢者住 宅の種類と違い・選ぶ際のポイント(後編)	齋藤 弘毅 (老人ホーム相談センター)	26人
合 計			15回	269人

## (6) 認知症高齢者見守り事業

### ①事業内容

GPSを使った位置探知システムの利用助成、およびお出かけ見守りシール(QRコードを読み込むことにより介護者と発見者が伝言板を通して直接やり取りができるシール)の支給を行い、高齢者の早期発見及び安全の確保を図るとともに、介護者の精神的・経済的負担の軽減を図ります。

### ②実績

#### I GPS端末利用件数

利用者数	15件
------	-----

#### II お出かけ見守りシール利用件数

利用者数	18件
------	-----

## (7) 高齢者成年後見制度利用支援事業

### ①事業内容

判断能力が不十分となり、援助が必要になった高齢者に対して、成年後見制度の 申立て事務や制度利用に要する費用を負担することにより、高齢者が安定した生活を継続できるように支援します。

### ②実績

#### I 市長申立て

件数	10件
----	-----

#### II 成年後見制度等費用助成

後見人報酬助成	20件
---------	-----

##### ・申立てにかかる費用の助成

(対象)生活保護受給者、またはこれに準じるもの

(助成額)申立て費用は裁判所が定める額、鑑定費用は10万円まで

##### ・後見人報酬助成

(対象)被後見人の預金が概ね75万円以下で、1年間の収支が赤字

(助成額)月1万円まで(ただし業務内容により月2万円まで)

# (8)認知症サポーター養成事業

## ①事業内容

キャラバンメイトによる認知症サポーター養成講座を通して、認知症に関する知識を普及啓発することで、認知症の人とその家族が安心して暮らせる地域づくりを行います。

## ②実績

開催日	受講団体	参加人数
4月9日	第2地区民生委員	18 人
4月16日	西武信用金庫小平支店行員	14 人
5月8日	りそな銀行新入職員	223 人
5月17日	市民(家族介護教室)	19 人
5月21日	ニチイ花小金井訪問介護員	28 人
5月29日	訪問美容職員	18 人
6月7日	シルバー人材センター家事支援グループ	21 人
6月12日	常盤組職員	27 人
6月14日	ビーステップケアセンターケアマネジャー・訪問介護員	13 人
6月15日	西武信用金庫小平支店行員	14 人
6月15日	吉田組職員	20 人
6月18日	愛の家小規模多機能型居宅介護職員・利用者	25 人
6月21日	エクスアン住民	27 人
7月6日	高杉商事清掃業者組合	56 人
7月7日	14小青少対	35 人
7月12日	市民(家族介護教室)	19 人
7月12日	生活サポーター	22 人
7月13日	市民	4 人
8月28日	サークル	7 人
9月19日	NPOいきがいサロン・オリーブ職員(ヘルパー)	25 人
9月27日	市民(家族介護教室)	18 人
10月3日	市民(家族介護教室)	12 人
10月3日	生活サポーター	16 人
10月4日	男女協働参画の冊子を作るグループ	13 人
10月13日	デイサービス・まお里職員	10 人
10月17日	国立精神神経医療研究センター病院職員	27 人
10月27日	市民(マンション居住者)	9 人
11月2日	白梅学園大学子ども学部学生	55 人
11月15日	市民	10 人
12月6日	小平市職員	36 人
12月15日	訪問ステーションてととと小平	15 人
1月17日	生活サポーター	12 人
1月31日	市民	20 人
3月11日	市民	36 人
3月15日	緑成会病院デイサービス	13 人
3月20日	大東建興清掃事業者	20 人
3月25日	小川東町自治会	17 人
合計	37回	974人

(再掲)

受講対象	回数	人数	詳細
市事業における実施	3 回	50人	生活サポーター養成講座、小平市福祉人材養成講座等
市報広報による希望者	7 回	134人	
大学生	1 回	55人	白梅大学
企業関係	8 回	392人	銀行、郵便局、清掃事業所等
介護関係事業所	7 回	131人	グループホーム、市内病院
地域住民関係	10 回	176人	自治会、青少対等
市職員	1 回	36人	市職員研修
合 計	37 回	974人	

○フォローアップ研修

開催日	参加者数	テーマ・内容
5月15日	8人	認知症を理解し、地域で支えていくために
11月8日	59人	認知症の方の生活について、支援のポイント

○キャラバンメイト養成研修

開催日	参加者数	テーマ・内容
1月8日	45人	キャラバンメイトの養成(兼、認知症支援リーダーフォロー研修31名)

○キャラバンメイト連絡会

開催日	参加者数	テーマ・内容
3月4日	41人	実績報告、小平市地域包括ケア推進計画、認知症サポーター養成講座実施について